

幼児教育・保育の無償化

「安心して入園」が先決

「無償化」の問題点

- 1 消費税増税が前提です。低所得者には、無償化による負担軽減効果は小さい一方、消費税増税が生活にのしかかります。
- 2 給食費(目安7,500円)は無償化の対象外です。さらに私立施設には徴収の負担も増します。

党市議団は、現時点ではこの「無償化」には賛成できません。

岡山市の課題

- 1 岡山市では、「保育園おちた」が全国でも特に深刻です。4月に保育園に入れなかった子どもは1467人もいました。市は、無償化でさらに増える入園希望への具体的対策を打ち出していない。それどころか、市立の保育園と幼稚園を減らす統廃合に固執しています。
- 2 無償化対象となる認可外施設の質の保証が不十分なままです。これらの問題点や課題があるにも関わらず「無償化」ありきでは、保護者の願いに逆行します。

子育ての負担軽減は私たちもめざしていることですが、市に現在の課題を解決しようとする姿勢が見られず、状況を深刻化させる懸念があり、賛成できませんでした。

保護者の願いは、希望する全ての子どもを安心して預けられることです。私たちは、認可保育園の充実こそ必要と考えています。

当面、幼稚園の3歳児保育や預かり保育などといった市立園の活用や、保育士の確保などを急いで行うべきです。

導入後は年収激減も?!

	現行	導入後
学校司書 公民館主事など	274万円	→250万円
児童館職員	263万円	→188万円
さんかく岡山相談員	235万円	→215万円
母子父子自立支援員	250万円	→215万円

「会計年度任用職員」制度
学校司書もパート化か

岡山市は、約2000人の臨時・非常勤・パート職員を会計年度任用職員に移行させようとしています。市は、図書館や学校の司書、児童館や公民館の職員など専門性の求められる職種でも1年単位の雇用とし、勤務時間と報酬を削減する方向です。

何より、専門職の雇用が継続保障されないことは、文化・教育行政の大幅な低下を招きます。

解説 会計年度任用職員制度とは、非正規の地方公務員の任用を明確化する目的で新設された制度で2020年4月導入予定。会計年度(1年)だけの契約で、継続を希望しても毎年採用試験を受けなければいけない。複数年採用されても岡山市では昇給は6年で頭打ち。

何よりも
「市民の暮らし」

常…常任委員会 特…特別委員会 他…その他

4月7日の岡山市議会議員選挙で、日本共産党岡山市議団は勇退した河田正一さんに代わり、菅原修さんを迎えました。

5議席確保により、議案提案権を持ち、正式会派として60分の質問時間で代表質問ができます。また、今期から常任委員会の数が5に再編され、党市議団は全ての常任委員会に委員を出せるようになりました。市民の声を届けるためにいっそうがんばります。



北区 菅原おさむ
常任 子ども・文教
特 人口減少対策

北区 田中のぞみ
常任 市民・産業
特 災害に強いまちづくり

南区 東つよし
常任 保健福祉・協働
特 大都市制度

東区 竹永みつえ
常任 総務
特 団体推進
他 団長

中区 林じゅん
常任 都市・環境
特 新庁舎整備

チーム市議団 あたらしい5人でがんばります

編集後記



Editorial note

市民と野党の共闘で闘った参議院選挙が終了しました。日本共産党は全体で比例票を8万票増やすなど計7議席を獲得しました。改憲勢力が3分の2を割り込んだことは大きな成果です。消費税増税ストップ、憲法まもれ、減らない年金制度など13項目の政策協定が大きな力となりました。

しかし、残念ながら岡山市議会では、消費税や憲法のは野党で一致できていません。共闘の闘いを通じてつくられた信頼や絆を岡山市議会でも活かしていくよう頑張る決意です。

日程



Schedule

9月定例議会

- 9/3(火) 常任委員会
- 5(木) 開会
- 10(火) 請願・陳情締切
- 11(水)~18(水) 個人質問
- 19(木) 常任委員会
- 25(水) 閉会

議案に対する各会派の態度



For or against

	共産	自民市議団	公明	自民政隆会	創政会	市民ネット	1人会派*			結果
							寺	熊	森	
会計年度任用職員制度を導入する条例	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
幼児教育・保育を無償化する条例	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
マイナンバーを利用拡大する条例	×	○	○	○	○	△	○	○	○	○
消費税増税で手数料を値上げする条例	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
路面電車駅前乗入で実証実験を求める陳情	○	○	棄	×	×	△	○	○	棄	○

*寺=寺林綾乃議員、熊=熊代昭彦議員、森=森山幸治議員 (全議員の賛否は市議会ホームページで確認できます)

6月議会では全56議案が可決され、党市議団は4議案に反対しました(左表参照)。党市議団は路面電車の駅前乗入に反対です。バス協会が渋滞状況を確認する目的で実証実験を求めた陳情に、2月議会では反対しました。今回は、3月に都市計画決定され、事業化された状況変化があり、多くの市民の不安に応えるために一つひとつ課題を明らかにすることが必要との立場で、陳情に賛成しました。